

03 見通しが持てない子供たち

義高 互

通級生徒のチェックシートで出た「教室が嫌いだ」の中には「友達や先生が嫌いだ」だけではなく

「見通しがつかない活動する教室嫌いだ」という要素がありました。

通級の自立活動の一つに見通しをつける。という活動があります。

見通しがつかないので不安になる、という生徒は情緒に支援が必要な生徒も、知的に支援が必要な生徒もいます。

毎回「今週の予定」をチェックして見通しをつけていくのも大切な自立活動でした。

しかし実際には中学校の毎週の生活は行事が目白押しです。

私は教科や特別な行事を中心に、生徒の見通しをつけていきました。

ところが毎日あまりに変更がありすぎて、次の時間が確定せず、月曜日に確認した予定がほとんど変更されていたという週もありました。

中学校などは、教科学習の他の活動が複雑で大量にあります。学級活動の係活動、委員会活動、学校行事の準備、部活動、はては教科の課題まで

通級を担当した一年目、見通しをつけようと毎週の予定と授業を確認していたのですが、あまりに変更がありすぎ、支援できませんでした。

そして私自身が見通しがつかず、教員たちも見通しがつかない、という週がありました。

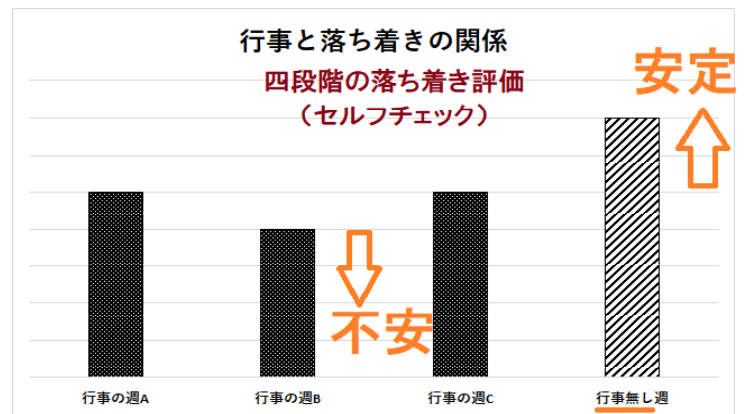
そういう週は、支援が必要な生徒だけでなく、他の生徒も教師さえも、え、今日何するの？と見通しが立たないまま活動しているときがあったのです。

さすがに通級教室ではできないことを悟り、見通しをつけるのは最低限の教科等にしました。

これはチェックシートに表れず、毎日の確認シートで、見通しを持つことができたか？という項目で出てきたスコアです。

行事の精選は学校によって違いがあります。

その中で行事で予定が変動し、支援をしても生徒が見通しを持てない程 行事をたくさんする学校というのはいかなるものなのでしょうか。



情緒の支援が必要な人

通級の自立活動

一日・1週間の見通しをつけ

生徒に見通しがつく
落ち着いた生活を

